

6月 ~ 楽しい実、たんぽぽみずぐみ ~

クラスだより

2022.6.27
おたけまがかりんぼん

園生活にも慣れてきて、遊ぶ姿が更に活発になってきました。
最近では、暑い日も系統きべランダや屋上などいろいろな場所で水遊びを楽しんでいます。そこで、熱中症は、気付かないうちになってしまうことも夕方にめいめいな水分補給も摂っています。職員同士も声を掛け合いながら十分注意し、夏ならではの遊びを思いきり楽しみたいと思います!!

最近の楽しい実みさんほ...

慣れてくるとどんどん重かき活発になり、部屋中を探索して回る子どもたちは一人遊びも上手になってきました。
俗臭いもの、匂いによるものを見つけるともうそんじか見えが四つ這いに向かっていきます。そこでお友だちの方が少しでも速く匂いをおたけまの手に取りると、はっとした素直さで持っているものを取らうとしたり、取られて怒ったりもしまね危なくいよいよ見守りながら、少しずつ見え始めている子どもたちの思いに成長を感じています。
また、保育者が顔前を叩くと「ん？」と振り向き見てくれるようによびまわし、「おいで」と手をあげると自分から四つ這いで来てくれる子どもやニコッと笑顔を見せてくれる子どもなど様々な反応が見られています。

園庭あそび

保育室でのあそびが充実し始めている中、遊びを広げたいという屋上にテント、園庭にテント、土場戸所を凌いで遊んでいます。初めての園庭では、「ニこニこ」「いせだー」と言っているように泣いていた子どもたちも、子どもたちが遊ぶたれと思えるよう時間をかけて声掛けをし、自分で進んで園庭へ出るようになる様子も増えています。園庭では、(ほとんどの場合)いせのクラスの子もたれも遊んでいます。かわいい、かわいりと遊んでくれるお兄さん、お姉さんに戸惑いつつも、そのおかげで泣き止み遊ぶ姿も見られました。座って石けを掴んだり、掴んだりして遊ぶ、四つ這いで匂いによる戸所へ行く、うらやまが月夜についてや、しりやめたりなどみんないろいろなことを感じながら慣れていっています。四つ這いで月夜の痛み等や石けの角虫のいせ、いろいそなことを自分で感じ取りたいです。

ぬるま湯あそび

暑い日が続く、早速べランダでぬるま湯に顔をひたしてみます。ぬるま湯の入った洗面器を前に不思議そう顔を覗きこき、そと手を入れたかと思うと大丈夫かた途立端にパシャと水面を叩き、顔に水がかかるとへちやらでそこからずと遊んでいました。洗面器をひっくり返してみたり、パシャパシャと水を飛ばしたり楽しむ中、洗面器に入っていく子どももいます。もうすぐ夏になり水あそびが始まります。どんな遊びができるのかどんな姿を見せてくれるのかお家の方にお話しするのがとても楽しみです。

たんぽぽみ

「うちわばたばた」の絵本でうちわの存在を知り、親の様子があたのでプレゼントにうちわを作ることになりました。まずは土台となる部分を5色の画用紙の中から2色選みます。そして手型スタンプをするインクもたくさん色がある中から1色選みます。
「選択する」ということが今回のうちわ作りではたくさん出てきました。自分の好きなものを選ぶということは簡単なようで、まだたんぽぽ組の子どもたちにとっては難しいことです。「これ!」とすかさず選ぶ子どももいれば、じーと眺めてなかなか手を出せない子ども何にでも興味津々であれこれと触る子ども、一番近くにあるものを手に取る子ども...と一人ひとり様子は様々でした。
一人ずつ手型スタンプをしている時やお絵描きをしている時、他の子どもたちは興味津々で「なにしているやろ?」「あたし(ぼく)もやりたい!」という様子でのぞき込んでいました。子どもたちが楽しく作ったうちわです。お家でたくさん使ってもらえたらうれしいです。
そして、これから色々な場面で「選択する」という経験をくり返し自分の好きなものをたくさん増やしてほしいな、と思っています。



友だちとの関わり

遊びや生活の中で友だちに興味を持ち関わる姿が見られるようになってきました。保育室で一緒に手をつないで歩いたり、ぎゅ〜と抱き合ったり、笑顔で目と目を合わせるなど可愛い姿がたくさんあります。
その反面、まだ相手の気持ちや考えたり、相手に合わせることは難しく玩具や場所の取り合いなどから思いのぶつかり合いにつながることも増えています。まだ自分の思いを言葉で伝えることが難しく、たたく、押す、噛む等の行動につながっています。時には目の前におたけま...という理由で噛むこともあります。そこには相手に伝えたい、相手に関わりたい、という思いがいっぱい芽生えています。
痛いことになった時はその都度「お友だち痛かったよ!」~が嫌やたんやな」と気持ちを受け止めてお話しています。怪我につながるような見守っていますが、子どもたちの言葉にならない思いの表現も成長の通り道であることを感じつつ見守っていきたいと思います。

おねがい!

7月4日からプールあそびが始まります。
※毎日準備していただいている着替えセットの一つにフェイスタオルと女の子用のパンツを足して入れて下さい。衣装ケースに準備のパンツを2枚入れておいて下さい。
※プールでは遊びもダイナミックになります。怪我につながるような爪は短く切ってください。

みずぐみ

今月から保育室にキーボードを置き、朝のおはようの時間には歌を1曲歌うことを始めました。今は丁度ホタルの季節なので「ホタル」を歌っています。はじめは、キーボードがあるだけで、なんだかワクワク!!音が鳴り、心が踊ると共に身体も踊る子どもたち!全然知らない歌の「はす」なのに、音に合わせて、ピョンピョン跳びながら、保育者が「歌うのを聞いていました。今では子どもたちが「ホ・ホ・ホタルポーン!」と口ずさんでくれるようになってきました。1曲の中に「ホ・ホ・ホタル、こい」という歌詞が出てくるのですが、子どもたちは「こい」の部分を「ホイ」と歌っています。けれど、それが本当にかかると、子ども同士で顔を合わせ歌う姿がとっても微笑ましいです。これから少しずつ、新しい歌も取り入れていこうと思います。



ありがとうの目のプレゼント作り

4月から色々な絵本を言っています。ずと変わらず大好きな絵本の中の1冊に「いろいそバス」があります。赤、黄、緑 etc...カラフルなバスが登場し、その色にちなんで「モノ」が描かれています。子どもたちのマークの野菜や動物など、1つ1つ大騒ぎしながら見ている絵本なので、何か形として残せたら...とプレゼントにしました。子どもたちは、赤、青、黄、黄緑、ピンクの中から好きな色の絵の具を1色選び、白い画用紙に筆を使って塗りました。「せーんが塗、てもいいよ」と声をかけました。同じ戸所を塗り塗ったり、筆を絵の具につけるのが楽しくてポトポトになつたり...と保育者が想像していたいろいそバスとは違いました。でも、白い余白と絵の具のバランスが1人1人違って、ダンボールに巻きつけて見ると、どれも素敵でした。タイヤを自分の思う戸所に見たり、自分だけのいろいそバスが出来ると、次は写真撮影です。「ご乗車ありがとうごさいます」と絵本の最後に描かれているので、子どもたちも同じポーズで運転手さんになりました。ちょっぴり取っ手かいた子どもは「出発進行! イエイオー」で撮りました。子どもたちが作った「いろいそバスのメモボード」を、お家で使ってくださいね。

☆おねがい!☆

- ・手拭きタオルをフェイスタオルではなくハンドタオル(30×30cm)で準備して下さい。
- ・プールが始まるので女の子用パンツを2~3枚持ってきて下さい。